

# 公安委員会定例会議(第28回)の開催状況

- 第1 日時 令和7年11月5日(水)  
午後2時10分 ～ 午後3時52分
- 第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員  
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長
- 第3 議事の概要
- 1 決裁事項
    - (1) 公安委員会定例会議会議録  
総務室から、令和7年第27回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。
    - (2) 特定自動運転に係る行政手続  
交通部から、特定自動運転に係る行政手続について伺いがあり了承した。
  - 2 報告事項
    - (1) 松山大学との「サイバーセキュリティに関する協定」の締結  
生活安全部長から、松山大学との「サイバーセキュリティに関する協定」の締結について報告があった。  
委員から「サイバーセキュリティに関しては大学側にも知見があり、協定を結ぶという取組は非常によいものである。他の大学にも協定の範囲を広げるなどして活動の域を広めてほしい」との発言があった。  
委員から「最近では大企業もサイバー攻撃を受け、業務に多大な影響があると聞く。大学との協定を結ぶことによって警察の知見も広がるであろうし、人材育成の観点やリクルート活動にもよい影響があると思う」との発言があった。  
委員から「大学と協定を結ぶことによって、サイバーセキュリティに関する人材育成に期待が持てる。人材育成や人材確保は他県警察においても非常に高い危機感を持っているため、当県も他県の取組を取り入れるなどして前向きに取り組んでほしい」との発言があった。
    - (2) 西条・新居浜祭典に伴う雑踏警備実施結果  
生活安全部長から、西条・新居浜祭典に伴う雑踏警備実施結果について報告があった。  
委員から「祭典警備中、太鼓台の鉢合わせなどがあれば、観客をはじめ、対応する警察官にも負傷者が出るおそれがある。暴力的な事案を起こさせないよう主催者側にしっかりと申し入れや説得を行うなどして取り組んでほしい」との発言があった。  
委員から「祭典警備に従事された多くの警察官の方々に、感謝申し上げる。近年は祭典が行われる地域にも暴力排除の機運が非常に高まって

いるため、主催者等とよく連携を図り、今後も適切な警備活動をしてほしい」との発言があった。

委員から「祭典は地域住民が安心して楽しめるものであるべきであり、祭典警備も警察だけで遂行できるものではない。来年からも関係各所とよく連携し、雑踏事故や違法行為の絶無に向け、取組んでほしい」との発言があった。

(3) 交通機動隊の活動状況

交通部長から、交通機動隊の活動状況について報告があった。

委員から「交通機動隊の白バイは、狭路でも対応できる機動力に優れたものである。限りある体制ではあるが、効果的に運用し、交通事故の抑止に取組んでほしい」との発言があった。

委員から「白バイ隊員は多くの人々の憧れでもあるが、運転には危険が伴うため厳しい訓練が行われている。全国白バイ安全運転競技大会では優秀な成績を収めており頼もしく思う」との発言があった。

委員から「自転車の交通違反の取締りにも力を入れている。自転車交通反則通告制度の開始を見据え、適正な取締りを心掛けてほしい」との発言があった。

(4) 令和8年愛媛県警察運営目標（案）の策定

警務部から、愛媛県警察運営目標（案）の策定に関する報告があった。

(5) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(6) 令和7年度中国四国管区内警察拳銃射撃競技大会結果

警務部から、中国四国管区内警察拳銃射撃競技大会結果に関する報告があった。

(7) 令和7年度全国警察柔道剣道大会結果

警務部から、全国警察柔道剣道大会結果に関する報告があった。

以 上